



## 2. 今後のあり方

### (1) 附属幼稚園

「2 学習指導力」に焦点を当てた研究会（研究保育，事例研究会，保育検討会など）を実施する。特に，その中でも「教科教育等の専門性（①教科等の目標や教科の特質に応じた見方・考え方を踏まえ，指導の見通しを持って教材研究を実践している。②キャリア教育や道徳教育の視点を持って，教科等の目標や見方・考え方を捉え，教材研究を実践している。③教科横断的な視点や小・中・高の接続の視点を持って，教科等の目標や見方・考え方を捉え，教材研究や教材開発を実践しているなど）」では，教科横断的な視点や小・中・高の接続の視点を持って，教科等の目標や見方・考え方を捉え，それらを踏まえた教材研究や教材開発の研究会を実践する。また，「確かな学力を育む授業（①いわての授業づくり3つの視点を踏まえた授業を展開するとともに，授業の評価を実践している。②児童生徒一人一人の学習状況に応じて授業を柔軟に展開し，若手教員には指導と評価の一体化の模範を示しているなど）」では，児童生徒一人ひとりの学習（保育）状況を把握しながら授業を展開するとともに，授業評価に基づき授業の工夫・改善を図るような研究会を実施する。

### (2) 附属小学校

「2 学習指導力」に焦点を当てた研究会を実施する。特に，その中でも「教科教育等の専門性」と「確かな学力を育む授業」を重視する。具体的には，「教科教育等の専門性」と「確かな学力を育む授業」に関する研究会では，国研の指定校事業の公開研究会，国研から講師を招いて実施する校内授業研究会，校内授業研究会，教員免許更新講習，学部 GP 公開学習会，学部 GP 授業研究会などを実施していく。また，岩手県内外からの要請に応じて，講演や講義の講師，出前授業などの要請研究会を実施する。

「4 マネジメント力（同僚・関係者と積極的に連携・協働し，それぞれの強みを発揮しながら，学校内外の教育資源（人・もの・資金・情報・時間等）を効果的に活用して，学校経営計画のもと，評価・改善の視点を持って業務を推進している。）」に関する研究会としては，他校からの視察等を受け入れ，「学校組織としての連携・協働」「危機管理」「関係者等との連携・協働」の視点で視察者に対して研究会（講義，ワークショップなど）を実施する。

### (3) 附属中学校

基本的には「2 学習指導力」に焦点を当てた研究会を実施する。しかし、研究主題によっては、その他の分野も関連させた研究会とする。具体的には、「1 教員としての素養（使命感・責任感・倫理観，教育的愛情，豊かな人間性，コミュニケーション力，自ら学び続ける意欲・探究心，課題に立ち向かう力）」「2 学習指導力」「3 生徒指導力」「4 マネジメント力」に関連した研究会として学校公開研究会，「1 教員としての素養」「4 マネジメント力」「キャリア教育の視点」に関連した研究会として，国研の研究指定校研究会，「2 学習指導力」の「教科教育の専門性」と「確かな学力を育む授業」に関しては，各教科の授業公開研究会，学部 GP 授業公開研究会を行う。

「5 復興教育の視点（東日本大震災津波の教訓を継承し，本県の地域・未来を担う人材を育成するなど，「いわての復興教育」を推進している）」や「特別支援教育の視点（「いわて特別支援教育推進プラン」を理解し，障がいに関する知識や配慮等についての理解を深め，個に応じた指導を通じて，「共に学び育つ教育」を推進している）」に関する研究会の実施も視野に入れる。

### (4) 附属特別支援学校

研究会では，基本的に「7 特別支援教育の視点」に焦点を当てた内容で実施する。本校の研究主題に関連させ「2 学習指導力」の「教育課程の編成・実施」（実践の発展期「教育課程や指導計画に対する教科・改善の視点を持って教育活動を牽引している」）、「確かな学力をはぐくむ授業」（実践力の充実期「児童生徒一人一人の学習状況に応じて授業を柔軟に展開し，若手教員には指導と評価の一体化の模範を示している」）にもかかわる内容で学校公開研究会等を実施する。

学習会では，「3 生徒指導力」の「学校不適応・問題行動への対応」（実践力の向上期「経験や研修等を通して不適応・問題行動等発生時の対応スキルを身に付け，組織的に児童生徒の成長を支援している」）、「実践力の発展期「関係機関との連携や家庭への支援等を図り，不適応・問題行動等解決のための指導計画策定や実際の指導に率先して取り組んでいる」）の資質向上に資するよう実施する。

「特別支援教育のセンター的機能」として実施している幼稚園・保育所や小・中学校への訪問支援の取組では，「7 特別支援教育の視点」を基本としながら，「3 生徒指導力」の「学校不適応・問題行動への対応」に加え，「教育相談」（総合力の発揮期「保護者等からの相談等に対して受容的に対処し，適切に助言するスキルを持ち，同僚の育成に努めている」）や，「4 マネジメント力」の「関係者等との連携・協働」（実践力の向上期「保護者や地域など，関係者と良好な関係を築き，教育活動に生かしている」）、「実践力の発展期「関係者と連携した教育活動の際，積極的に調整

役を担っている」) の資質向上につながるような助言等を学級担任や特別支援教育コーディネーター、管理職に対して行う。